

令和6年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）  
分担研究報告書

ゲームに関連した生活障害等の問題、併存する疾患及び  
その対応等の実態把握に資する研究（24GC1014）

ゲームに関連した問題で医療機関を受診した患者の実態調査

研究分担者 松崎 尊信  
国立病院機構久里浜医療センター精神科

### 研究要旨

ゲーム行動の制御困難により日常生活に支障をきたすゲーム行動症（Gaming Disorder）は、2019年 WHO の ICD-11 に記載されたが、国内外を通じて医療・相談支援体制（service delivery）に関する実態報告は乏しい。さらに COVID-19 の影響により、治療ニーズの増大、対面からオンライン支援への急速な移行、地域によるアクセス格差など、対応体制には大きな変化と課題が生じた。英国の NCGD や日本の久里浜医療センターの事例からも、制度的・地理的な違いによる支援体制の差異が示されている。

本研究では、令和 2～4 年度の厚労科研「ゲーム障害の診断・治療法の確立に関する研究」の成果を基に、全国の専門医療機関・相談支援機関に対して質問票調査を実施し、ゲームに関連した問題の医療・相談対応の実態を明らかにすることを目的とした。令和 6 年度は、ネット・ゲーム依存の診療を実施している 111 機関を同定し、班員と協力して調査票を作成、Google フォームによるオンライン回答体制を整備した。

調査準備を通じて、対応機関の地域偏在や治療プログラムの不均質性、体制整備の必要性などの課題が見えてきた。調査票は、診療上の困難、家族支援、地域連携、診療報酬制度なども網羅している。次年度にはこれらをもとに実態を把握し、柔軟かつ持続可能な支援体制の構築に資する政策的提言を目指す。

研究協力者  
なし

#### A. 研究目的

ゲーム行動の制御困難により日常生活に支障をきたすゲーム行動症（Gaming Disorder）は、世界保健機関（WHO）により 2019 年国際疾病分類第 11 版（ICD-11）に精神疾患として正式に記載された。これを契機に、国際的にも治療・支援体制の構築に向けた関心が高まりつつあるが、現時点において、ゲーム障害に関する医療・相談支援サービスの提供実態（Service Delivery）に関する報告は、国内外ともに極めて限られている。また、COVID-19 パンデミックは、ゲーム行動症の

治療・支援体制にも大きな影響を及ぼした。

King ら（2022）は、ドイツ、スイス、日本、英国の 4 カ国の専門医療機関の 2019～2021 年のデータをもとに、パンデミック中に治療ニーズが医療提供能力を上回ったこと、対面からオンライン支援への急速な移行、そして受診アクセスの困難化などを報告した。英国で 2019 年に設立された National Centre for Gaming Disorders

（NCGD）では、オンライン化によってむしろ通院しやすくなったケースがある一方、日本の国立病院機構久里浜医療センターでは都道府県をまたぐ移動制限の影響によって新規受診が困難になるなど、地域や制度によって対応に大きな差が生じたことが指摘されている<sup>1)</sup>。

ゲーム行動症専門の全国治療拠点である英国 NCGD の 2024 年の報告では、若年男性を中心とした相談・受診傾向、併存精神疾患、家庭内暴力や過度な課金行動といった臨床的特徴が報告されている<sup>2)</sup>。

一方、日本ではゲーム行動症の専門外来を有する施設は一部に存在するものの、それらがどのような診療体制をとり、どのような患者を受け入れているのかについて、体系的な把握はなされていない。そのため、相談や治療ニーズがあるにもかかわらず、支援につながるプロセスや体制がわかりにくいといった状況が続いている。

本研究では、令和 2～4 年度実施された厚生労働科学研究「ゲーム障害の診断・治療法の確立に関する研究」で得られた知見を基に、全国の専門医療機関および相談支援機関を対象とした質問票調査を実施し、ゲームに関連した問題への医療・相談対応の実態を明らかにすることを目的とする。得られた結果は、COVID-19 による影響も含めた国際的知見と照らし合わせながら、我が国における持続可能かつ柔軟な相談・治療体制の整備に資する実践的・政策的提言に繋げることを目指す。  
参考文献)

- 1) King, D. L. *et al.* Gaming disorder and the COVID-19 pandemic: Treatment demand and service delivery challenges. *J Behav Addict* 11: 243–248, 2022
- 2) Piper, T., Silva Youngs, M. Da, Tomy, H., Lockwood, R. & Bowden-Jones, H. The National Centre for Gaming Disorders – the Demographic Profile and Clinical Characteristics of Individuals Accessing Our Service. *BJPsych Open* 10: S203–S203, 2024

## B. 研究方法

- ・対象機関の抽出とリスト整備

全国の都道府県・政令市における精神保健福祉セ

ンターのアンケート調査をもとに、ネット・ゲーム依存の診療を実施している専門医療機関を同定する。

- ・調査票の作成

班内の専門メンバーと協力して調査票を作成する。回答の利便性と集計効率を考慮し、Google フォームによるオンライン回答方式を採用する。対象機関に送付する調査依頼文書と URL を整備する。

## C. 研究結果

本年度は、全国の専門医療機関を対象とした質問票調査の実施に向けて、

- ・対象施設を 111 施設同定した。(ゲーム・ネット依存の治療施設リスト)

- ・調査票の作成

- ・オンライン回答体制の整備 (Google フォームによるオンライン回答方式) を行った。

調査票作成にあたっては、令和 2～4 年度の厚労科研の成果物等を参考に、診療現場の実態把握と政策提言の双方に資する設問構成を重視した。

## D. 考察

準備作業を通じて得られた知見として、以下の点を確認された：

ゲーム行動症の対応機関は全国的に限られており、地域差が大きい。今回抽出された 111 機関は都市部に偏在しており、地方での支援アクセスには課題があると推察される。医療機関によって専門的治療プログラムの有無などが推察され、治療ガイドラインや連携体制の整備が必要である。これらの準備段階での知見をもとに、次年度に実施予定の本調査の意義をさらに高める必要がある。特に、医療機関における対応体制の多様性、困難の共通項、求められる支援の方向性を明らかにすることが、全国的な体制整備の第一歩となると考えられる。

また、今回作成した調査票では、患者の受診動機、併存症、治療の困難さといった診療上の課題だけでなく、家族支援・地域連携・診療報酬の問題なども設問として網羅しており、今後の分析においては医療政策上の提言に結びつける視点が重要となる。

## E. 結論

本研究によって、以下の点を明らかにしていく。

- ・診療科や施設種別による対応の差異、年齢層別の傾向、併存疾患の頻度などを明らかにすることで、全国的な支援ニーズを具体化し、全国規模での診療実態を可視化する。

- ・各施設の取り組みや課題を抽出し、支援体制の整備、診療報酬上の位置づけ、ガイドライン策定など、行政施策への提言につながる知見の基盤となる。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

Yokoyama A, Yokoyama T, Yumoto Y, Takimura T, Toyama T, Yoneda J, Nishimura K, Minobe R, Matsuzaki T, Kimura M, Matsushita S.:

Associations of ADH1B and ALDH2 genotypes and alcohol flushing with drinking history, withdrawal symptoms, and ICD-10 criteria in Japanese alcohol-dependent men.

Pharmacogenet Genomics 2024, 34(5): 139-148

Tateno M, Matsuzaki T, Takano A, Tateno Y,

Kato TA, Higuchi S: The rate of patients screened positive for gaming disorder/Internet

gaming disorder among adolescents with mental health issues assessed by two screening tests: A nine-item screening test for GD (GAMES Test) and the Ten-Item Internet Gaming Disorder Test (IGDT-10). PCN Rep 2025, 4(1): e70080.

松崎尊信: 物質使用症の気づきと病識. 精神医学 2024, 66(6):841-848.

松崎尊信: リアルな専門病棟の声(強みと悩み,そして対策・工夫) 入院と依存症. 臨床精神医学 2024, 53(10): 1259-1263.

### 2. 学会発表

Takanobu Matsuzaki: National survey on treatment facilities of Gaming Disorder in Japan. the 9th International Conference on Behavioral Addictions, Gibraltar, 2024, 7 (シンポジウム)

Takanobu Matsuzaki: International comparison of behavioral addictions, from gambling to gaming. the 3rd World Congress on Alcohol and Addictions, Merborne, 2024, 9 (シンポジウム)

松崎尊信: 日常診療でゲーム・ネット依存に対応するために. 第120回日本精神神経学会学術総会, 札幌, 2024, 6 (シンポジウム)

松崎尊信: Gambling Disorder(ギャンブル障害)治療プログラムの長期的な有効性について: 日本における多施設共同研究, 第78回国立病院総合医学会, 大阪, 2024, 10 (一般口演)

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## 治療施設リスト

1	北仁会 いしばし病院	41	新潟県立精神医療センター	81	雁の巣病院
2	医療法人北仁会 旭山病院	42	新潟大学医歯学総合病院	82	医療法人和光会一本松 すすかけ病院
3	医療法人耕仁会札幌太田病院	43	医療法人明生会関病院	83	社会医療法人聖ルチア会聖ルチア病院
4	医療法人深仁会手稲深仁会病院	44	佐潟公園病院	84	のぞみ総合心療病院医療法人コシュノテ風と虹
5	特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院 ときわこども発達センター	45	かとう心療内科クリニック	85	こころころクリニック
6	札幌こぶしクリニック	46	医療法人社団博啓会アイ・クリニック	86	医療法人遊行会藤川メディケアクリニック
7	札幌西区ともメンタルクリニック	47	石川県立こころの病院	87	うえむらメンタルサポート診療所
8	札幌白石ともメンタルクリニック	48	社会医療法人財団 松原愛育会松原病院	88	独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター
9	医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック	49	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院	89	さがセレニティクリニック
10	四季メンタルクリニック	50	独立行政法人国立病院機構小諸高原病院	90	虹と海のホスピタル
11	医療法人社団さっぽろ麻生メンタルクリニック	51	長野県立こころの医療センター 駒ヶ根	91	医療法人見松会あきやま病院
12	社会福祉法人楡の会こどもクリニック	52	松南病院	92	松元リカバリークリニック
13	津軽保健生活協同組合藤代健生病院	53	独立行政法人国立病院機構天竜病院	93	医療法人心療内科 新クリニック
14	未来の風せいわ病院	54	福田西病院	94	医療法人社団松本会希望ヶ丘病院
15	東北会病院	55	聖明病院	95	医療法人横田会向陽台病院
16	医療法人大香会みやの杜クリニック	56	瘧部病院	96	有明メンタルクリニック
17	西真岡こどもクリニック	57	マリアの丘クリニック	97	医療法人山本記念会山本病院
18	那須こころの医院	58	あつた白鳥クリニック	98	医療法人緑心会馬場クリニック
19	宇都宮東口ストレスクリニック	59	医療法人杏野会各務原病院	99	真央クリニック
20	群馬県立精神医療センター	60	滋賀県立精神医療センター	100	こころの先生クリニック
21	埼玉県立精神医療センター	61	大阪府立病院機構大阪精神医療センター	101	大分駅南クリニック
22	白峰クリニック	62	大阪市立大学医学部附属病院	102	Medical Empowerment Station陣屋の里
23	東京医科歯科大学医学部附属病院	63	神戸大学医学部附属病院	103	河村クリニック
24	昭和大学附属 鳥山病院	64	垂水病院	104	大悟病院
25	東邦大学医療センター大森病院	65	幸地クリニック	105	森口病院
26	医療法人財団青溪会駒木野病院	66	まついこころのクリニック	106	指宿竹元病院
27	成城墨岡クリニック分院	67	すずろメンタルクリニック	107	いこまクリニック
28	医療法人社団アパリアバリアクリニック	68	岡山県精神科医療センター	108	医療法人 増田クリニック
29	医療法人社団学風会さいとうクリニック	69	医療法人翠星会松田病院	109	独立行政法人国立病院機構琉球病院
30	医療法人社団こころの会タカハシクリニック	70	医療法人正雄会呉みどりヶ丘病院	110	田崎病院
31	ライフサポートクリニック	71	医療法人せのがわ 瀬野川病院	111	絆愛こころクリニック
32	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター	72	藍里病院		
33	横浜市立大学附属病院	73	宮内クリニック		
34	地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター	74	医療法人社団五色会こころの医療センター 五色台		
35	北里大学病院	75	医療法人社団光風会三光病院		
36	大石クリニック	76	愛媛大学医学部附属病院		
37	医療法人緑の会川崎沼田クリニック	77	医療法人敬愛会久米病院		
38	川崎メンタルクリニック	78	Dクリニック		
39	おまもりクリニック	79	ひねのクリニック		
40	独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター	80	医療法人青峰会チヨダクリニック		